



学校だより

5月 

令和5年4月27日
横浜市立本宿小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku>

つながりを大切にして、自他を尊重する心を育みます

校長 松比良 聡夫



4月17日から27日まで、授業参観・懇談会を行いました。今回は、保護者の方や子ども同士のつながりを広げたり深めたりするために、大人も子どもも一緒に学年全体でレクリエーションを行いました。「もうじゅうがりへ行こうよ」等、多くの人と触れ合えるようなゲーム等を行い、楽しく交流しながら知り合うことができたのではないのでしょうか。

コロナ禍で授業参観や懇談会を以前のように実施できなかったことや、学校行事も保護者1名などの人数制限をさせていただいたこと等により、大人も子どももつながりが以前より弱くなっていると感じています。今回はそんな状況を改善しようと考えました。

今後も、顔の見える関係を作っていきたいと思いますので、次回の授業参観や懇談会等、様々な機会に学校にぜひお越しいただきたいと思います。

子ども同士も様々な交流を通して自己理解や他者理解を深め、性別や年齢、国籍など違いにとらわれず多様性を尊重する心を育ててほしいと願っています。今年度は教室配置を変更して、ペア学年が近くの教室になるようにしています。1年生と6年生は1,2階、2年生と4年生が3階、3年生と5年生が4階の教室で学習をしています。日頃から折に触れてペア学年と交流を重ねられるようにしています。

スマイル活動（1年生から6年生までが同じ班になる縦割り活動）もスタートしました。4月26日には初めてのスマイルタイムを実施して、それぞれの班で仲良くなるゲームや自己紹介などを行いました。1年間この班の友達とも定期的に活動したり、スマイル本小ラリーやスポーツフェスティバルでも、スマイル班で協力して活動したりして、他者を思いやる気持ちやリーダーシップ、フォロアーシップ等を育てていきたいと思っています。

学級集団をはじめ子どもたちの様々なつながりを大切にしてコミュニケーションの力を養いながら、他者と協働する楽しさやよさを学び、自他を尊重する心を育てていきたいと思っています。保護者の皆様や地域の皆様とも、様々な交流の機会を作っていきたいと考えています。今後とも、ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



4/26 スマイルタイムの様子